

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330431117	生徒指導論 Student Guidance Theory	中野真悟			2	必修	3前期

科目の概要

本授業では、「生徒指導」に関する指導力を高めるために、定義や目的、構造について理解する。また、様々な生徒指導上の課題について学修することで、多様な課題に対する指導やその支援体制を理解する。生徒指導の構造に関する基礎的な知識を活用して、具体的な生徒指導上の課題に対応できる支援体制を学修することで、現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができるようにする(DP②)。担当教員は小学校や中学校で長年学級担任として生徒指導を実践してきた経験があり、日本生徒指導学会で実践研究を実施してきている。

学修内容	到達目標
① 生徒指導の定義や目的、構造を理解する。 ② 生徒指導の構造を活用し、様々な生徒指導上の課題に対応できる支援体制を理解する。 ③ 基礎的内容の理解を基にして、具体的に支援体制を考える学修活動を実施する。	① 生徒指導の定義や目的、構造を理解することができる。 ② 生徒指導の各活動について、様々な生徒指導上の課題に対応できる支援体制を理解することができる。 ③ 基礎的内容の理解を基にして、実践的な支援体制制作りに活用することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自身の経験や現在の生活と結び付けながら、関心をもって学修活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自身で目標を設定し、その達成に向かって最後まで学修活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	状況を把握して自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学修における課題等に対して、多様な考え方をもち柔軟に取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループ討議や全体発表において、考えや意見を相手に伝えるように表現することができる。
	傾聴力	グループ討議や全体発表において、他者と自分の意見を比較し取り入れながら考えを深めることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や私語等の行動を自身でコントロールし、学修活動を進めることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『生徒指導提要—令和4年12月—(B5サイズ・4色刷り)』 文部科学省、東洋館出版社、990円

参考文献：『生徒指導提要改訂版 全文と解説』

オープンエデュケーション：「生命(いのち)の安全教育動画教材(全体版)」(文部科学省/mextchannel)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbBgL1Hb1ldnWghttbWZKfNr>

他科目との関連、資格との関連

本科目「生徒指導論」は、教職科目として配置され、「道徳教育の理論と実践(1年)」「総合的な学習の時間の指導法(2年)」等と並び、「教育原理(1年)」「教育課程総論(2年)」において専門的理解を深め、「教育実習(4年)」において実践的理解へと発展する。

関連する資格：小学校教諭1種

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> グループ討議や全体発表等では、積極的に意見を発表したり話し合いを行ったりすると良い。 毎時間しっかりと予習・復習を行い、理解を深めておくとう良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が許可したとき以外は、授業中に携帯を使用することは禁止とする。 授業中は私語を慎む。 30分を超える遅刻は欠席とする。なお、特別の理由がある場合はこの限りでない。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
	レポート	70	①	✓		・知識の獲得（授業の最後に実施する振り返り）：50% ・知識の活用（小レポートの内容の点数「学修した内容を整理できたか」「学んできたことを活用して考えることができたか」を総合して判定する）：20%
			②	✓		
③			✓			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	・知識の解決（グループ討議や全体発表において、「全体の学びを高めていくことに貢献していたか」「考えや意見を述べるときに、表現内容や方法は明確だったか」「学んだことを活用して解決を目指すことができたか」を総合して判定する）：20%	
			②	✓		
			③	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）自身の経験や現在の生活と結び付けながら、関心をもって学修活動に取り組むことができる。 （実行力）学修課題に目標を設定し、その達成に向かって最後まで学修活動に取り組むことができる。 （課題発見力）学修内容における状況を把握して自ら新たな課題を見出すことができる。 （創造力）学修における課題等に対して、多様な考え方をもち柔軟に取り組むことができる。 （発信力）考えや意見を相手に伝わるように表現することができる。 （傾聴力）他者と自分の意見を比較し取り入れながら考えを深めることができる。 （規律性）遅刻や私語等の行動を自身でコントロールし、学修活動を進めることができる。また、提出物を期限内に提出することができる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 最終レポートで、論点を明確に整理しながら、考えや意見を論理的に記述することができる。 小レポートで、学修内容の要点を的確におさえ、考えや意見を整理して記述することができる。 グループ討議や全体発表において、他者の考えや意見の良さを取り入れながら自身の考えを深め、それを発言や発表で表現することができる。 積極的な態度や姿勢で授業に参加し、学修活動全般において学びを深めようとする意欲がある。 学修を深めようとする意欲をもって提出物に取り組み、その成果が優れている。 上記の5項目すべてにおいて優れた成績を取っている場合にSとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 最終レポートで、自分自身の考えや意見を記述することができる。 小レポートで、学修内容も踏まえながら、考えや意見を記述することができる。 グループ討議や全体発表において、自身の考えや意見を表現することができる。 自律した態度で授業に参加し、学修活動に取り組むことができる。 提出期限や形式を守って提出物に取り組んでいる。 上記の5項目を満たしていないレポートや討議・発表、レポートの提出遅れがある場合はCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・生徒指導の定義や目的、生徒指導の2軸3類4層構造を理解する。	・ガイダンス ・講義 ・ワークシート	・生徒指導の定義や目的、生徒指導の2軸3類4層構造について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)本授業のシラバスをあらかじめ読んでおくこと。 (復習)本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておくこと。	180	主体性 傾聴力 規律性
2	・生徒指導の方法として、集団指導や個別指導、ガイダンスやカウンセリングを理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・生徒指導における集団指導や個別指導、ガイダンスやカウンセリングについて、整理しワークシートに記述できる。	(予習)テキストp.20～28をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習)本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	・生徒指導の基盤としての同僚性やマネジメント、取組上の留意点としての児童生徒の権利やICTの活用を理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・生徒指導における同僚性やマネジメント、児童生徒の権利やICTの活用について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)テキストp.28～38をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習)本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	・教育課程における生徒指導として、各教科や道徳科との関連を理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・教育課程における生徒指導について、各教科や道徳科との関連を整理しワークシートに記述できる。	(予習)テキストp.39～52をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習)本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	・教育課程における生徒指導として、総合的な学習の時間や特別活動との関連を理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・教育課程における生徒指導について、総合的な学習の時間や特別活動との関連を整理しワークシートに記述できる。	(予習)テキストp.52～67をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習)本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	・チーム学校における、学校組織や生徒指導体制について理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・チーム学校における、学校組織や生徒指導体制について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)テキストp.68～80をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習)本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	・チーム学校における教育相談体制について理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・チーム学校における教育相談体制について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)テキストp.80～88をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習)本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	・生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援や、危機管理体制について理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援や、危機管理体制について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)テキストp.88～100をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習)本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・法制度等の運用体制や、生徒指導の連携・協働について理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・法制度等の運用体制や、生徒指導の連携・協働について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp. 101～110をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思ふ単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	・チーム学校における、学校と関係機関との連携・協働について理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・チーム学校における、学校と関係機関との連携・協働について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp. 110～118をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思ふ単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	・いじめ防止対策推進法や対策のための組織、重層的支援構造を理解する。	・講義 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・いじめ防止対策推進法やいじめ防止対策のための組織、重層的支援構造について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp. 120～129をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思ふ単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	・いじめに関する生徒指導の重層的支援構造を理解し、重層的支援構造の活用を考える。	・講義 ・グループ討議 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・いじめに関する生徒指導の重層的支援構造について考えたことを、ワークシートに記述できる。	(予習) テキストp. 130～140をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思ふ単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
13	・暴力行為、児童虐待、自殺を理解し、重層的支援構造の活用を考える。	・講義 ・ディスカッション ・グループ討議 ・発表 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・暴力行為、児童虐待、自殺に関する重層的支援構造について考えたことを、ワークシートに記述できる。	(予習) テキストp. 141～143, 171～174, 189～192をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思ふ単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
14	・不登校、インターネット・携帯電話に関わる問題、性に関する課題を理解し、重層的支援構造の活用を考える。	・講義 ・ディスカッション ・グループ討議 ・発表 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・不登校、インターネット・携帯電話に関わる問題、性に関する課題に関する重層的支援構造について考えたことを、ワークシートに記述できる。	(予習) テキストp. 221～224, 240～242, 255～257をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思ふ単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
15	・オンデマンド配信 ・これまで学修したことを振り返り、感想や今後実践してみたいこととして考えたことをレポートにまとめる。 ・google classroomによる課題の提出	・ワークシート ・課題のフィードバック	・本時間内に最終レポートを提出できる。	(予習) これまでの計14週で学修してきたことを復習しておくこと。 (復習) これまでに学修したことを復習すること。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力